

「今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会」
説明資料

日本精神神経学会

基幹施設の分類について

■ 精神科専門研修プログラム申請状況

・ 154プログラム = 154基幹施設

■ 基幹施設分類

大学・・・84施設/大学以外・・・70施設

図 基幹施設の分類 (n=154)

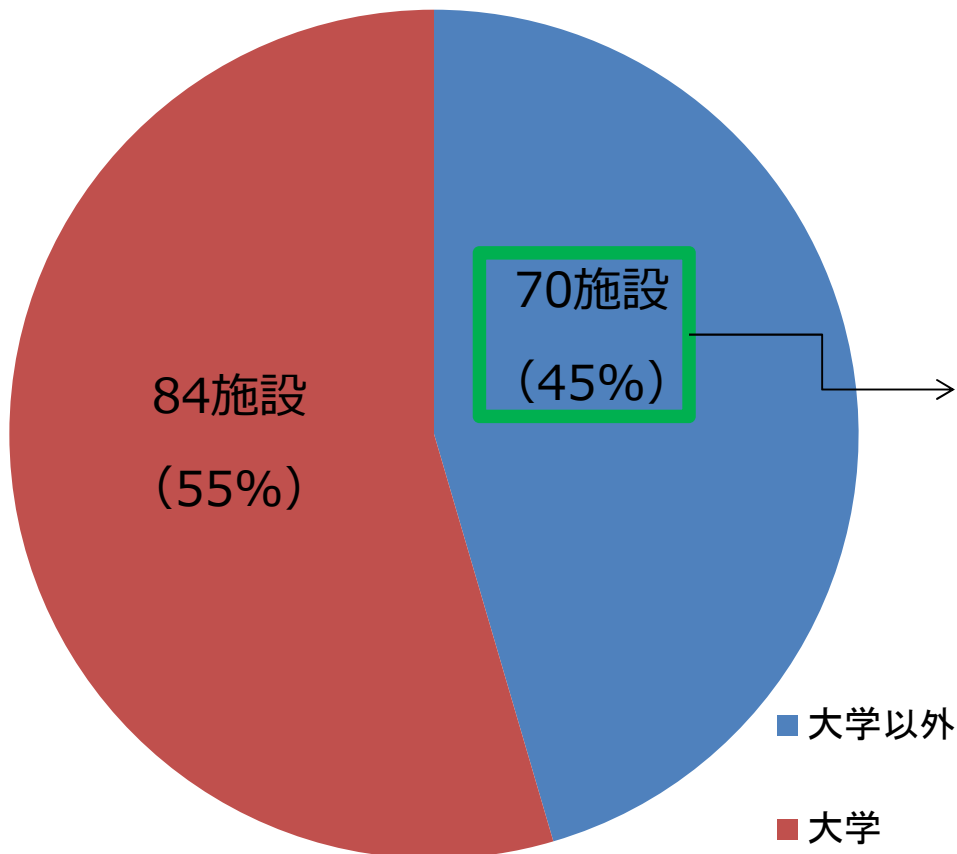
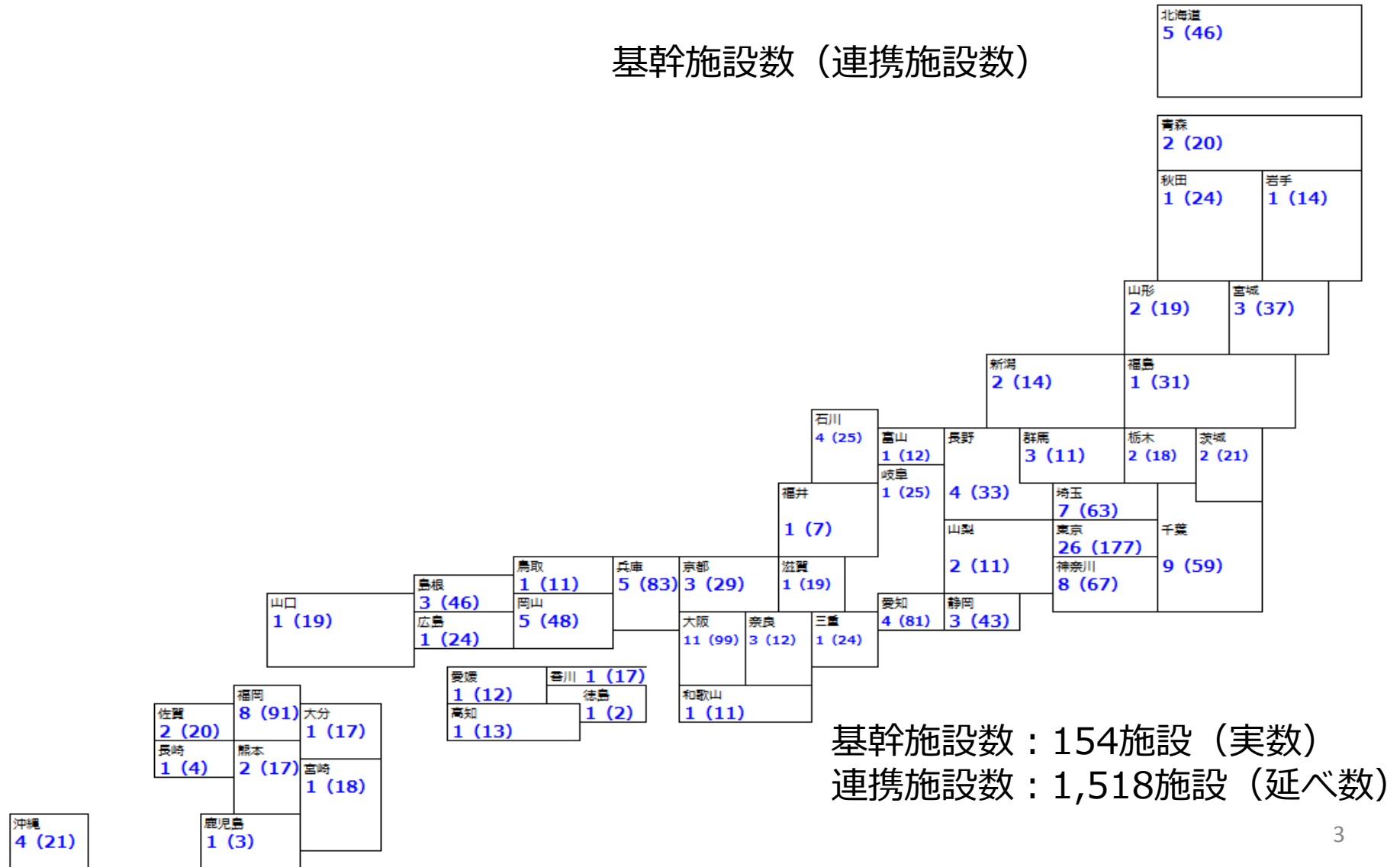


表 1 大学以外の主な基幹施設

所在地	施設名称	連携施設数
宮城県	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	10
千葉県	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国府台病院	4
静岡県	静岡県立こころの医療センター	6
岡山県	林道倫精神科神経科病院	5
兵庫県	兵庫県立光風病院	20

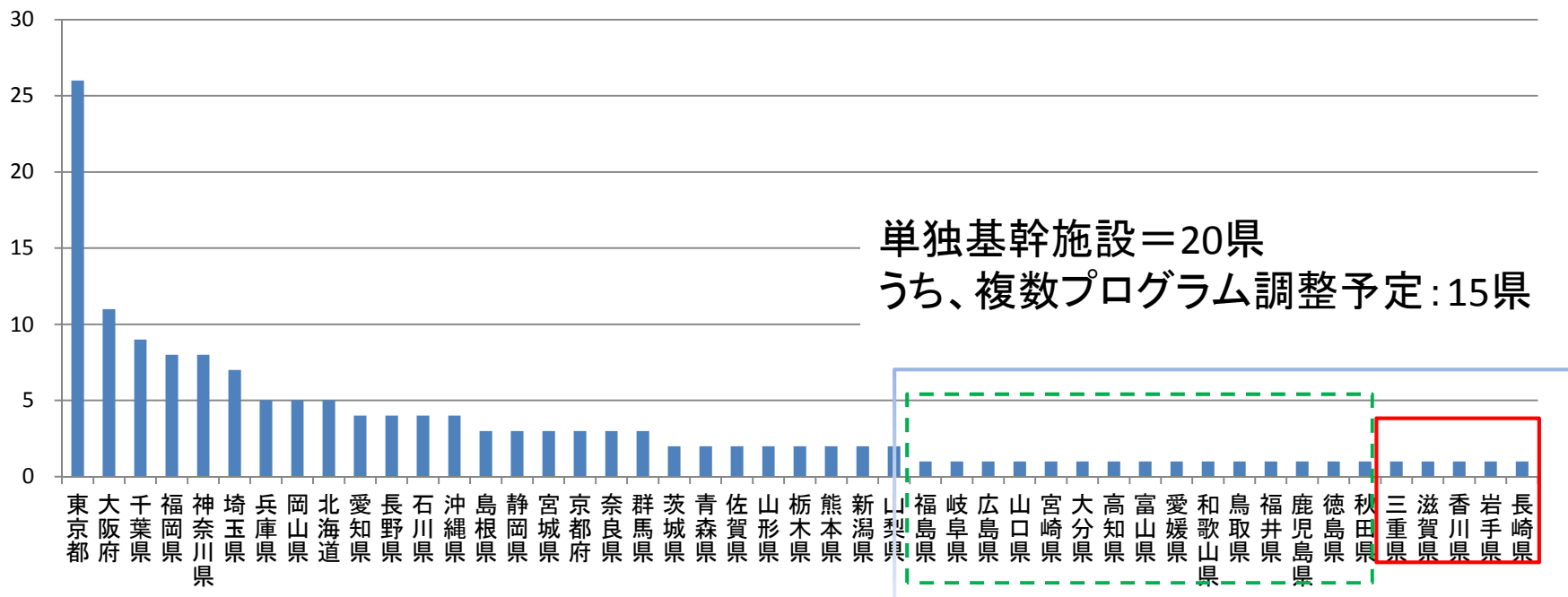
都道府県ごとの専門研修施設分布

基幹施設数（連携施設数）

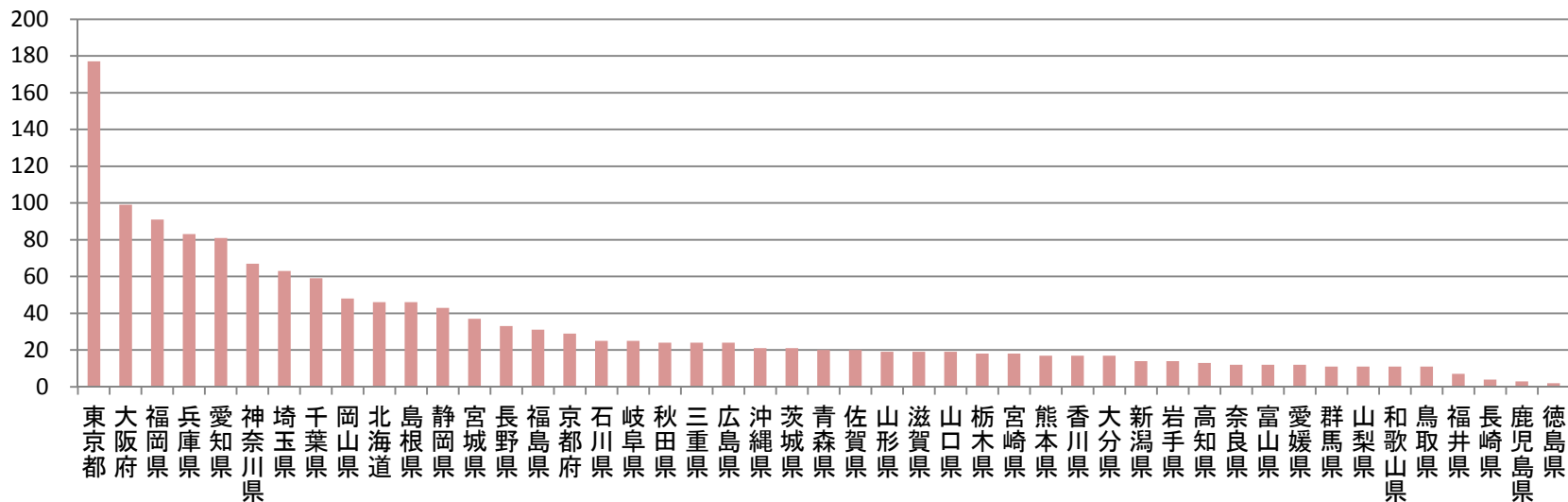


基幹施設数：154施設（実数）
 連携施設数：1,518施設（延べ数）

都道府県ごとの専門研修基幹施設数



都道府県ごとの専門研修連携施設数



基幹施設単独都道府県の対応について

★7月までに、複数プログラムを設置することについて対応可能な都道府県(検討中も含む)・・・15県

秋田県、福島県、富山県、岐阜県、福井県、和歌山県、鳥取県、広島県、山口県、高知県、徳島県、愛媛県、宮崎県、大分県、鹿児島県

★7月までに、複数プログラム設置することが困難であるが調整を継続する都道府県・・・5県

岩手県、滋賀県、三重県、香川県、長崎県

カリキュラム制への対応①

年次ごとの研修達成目標（専攻医マニュアルより抜粋）

プログラム制にもカリキュラム制にも使うことが可能なものとなっている。

研修年度		1	2	3
基本姿勢・態度				
1	患者や家族の苦痛を感じとれる感性を練磨し苦痛を和らげるための努力を続ける姿勢	○	○	○
2	コミュニケーション能力を鍛え、チーム医療に積極的に参加する姿勢	○	○	○
3	情報開示に耐える筋の通った医療を行う姿勢	○	○	○
4	謙虚さと厳しさをもった自己研鑽の態度	○	○	○
5	インフォームド・コンセントを実施できる	○	○	○
6	後進の指導ができる			○
7	科学的根拠となる情報を収集し、それを適応できる		○	○
8	科学的思考、課題解決型学習、生涯学習の姿勢を身につける。			○
9	症例提示と討論ができる。	○	○	○
10	学術集会に積極的に参加する	○	○	○
総論：患者および家族との面接				
11	①患者および家族に対する接し方ならびに説明	○	○	
12	②病歴聴取	○	○	
13	③精神症状の適切な把握	○	○	
14	④専門用語を用いた記載	○	○	
15	⑤治療者の心理的問題の処理	○	○	○

各論：統合失調症 F2				
1.統合失調症の概念と病態を理解	○	○	○	
2.統合失調症の診断と治療計画	○	○	○	
3.統合失調症の薬物・身体療法	○	○	○	
4.統合失調症の精神療法	○	○	○	
5.統合失調症の心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療、保健・福祉		○		
6.統合失調症の精神科救急		○		

カリキュラム制への対応②

日本精神神経学会整備基準

(第33項：専門研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件)

新整備指針19ページ記載の特定の理由のために専門研修が困難な場合は、申請により、専門研修を中断することができる。

6ヶ月までの中断であれば、残りの期間に必要な症例等を埋め合わせることで、研修期間の延長を要しない。

また、6ヶ月以上の中断の後、研修に復帰した場合でも、中断前の研修実績は、引き続き有効とされる。

特別な事情が生じた場合は精神科専門医制度委員会に申し出る。精神科専門医制度委員会はプログラムの変更等について最終的判断をする。

[日本専門医機構 新整備指針19ページより抜粋]

特定の理由: 海外への留学や勤務、妊娠・出産・育児、病気療養、介護、管理職、災害被災など

カリキュラム制への対応③

研修プログラムに基づいた正確で効率的な研修実行を目的とし、研修実績管理システムを構築する。研修の各種記録を利用者はインターネットを介して、登録確認する。研修中断によるカリキュラム制への対応が可能。



日本専門医機構

状況報告



日本精神神経学会



Internet

- ・ 研修歴の確認/承認
- ・ 研修記録の確認
- ・ 指導内容評価確認
- ・ 修了判定

- ・ 研修記録の確認

- ・ 指導医評価の登録
- ・ 多職種評価の登録
- ・ 経験症例の確認
- ・ 研修記録の確認

研修実績管理システム

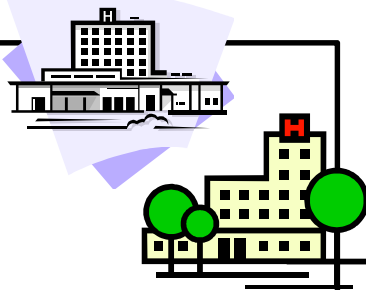


- ・ 研修歴の登録
- ・ 担当指導医の登録
- ・ 研修自己評価
- ・ 専攻医からの評価
- ・ 経験症例の登録
- ・ 学会発表暦 etc.

研修施設群



プログラム統括責任者



(状況に応じ) 施設群内で検討会を実施 (研修状況等)



指導医

- ・ 指導
- ・ 研修状況の評価

指導状況の評価

専攻医

